

『腎臓内科レジデントマニュアル 改訂第8版』正誤表
(2019年7月8日印刷分)

このたびは上記書籍をご購入いただきまして誠に有難うございました。
本書の一部に誤りがございましたので、以下のように訂正させていただきますとともに
謹んでお詫び申し上げます。

2019年10月
株式会社 診断と治療社 編集部

訂正箇所	誤	正
p. 3 表 2	ネグレスト	ネグレクト
p. 103 下 11 行目	以下のいずれかが,	以下のいずれかまたは両方が,
p. 108 下 13 行目	(追加)	■75歳以上のCKD患者では降圧目標を150/90mmHg未満とし、忍容性があれば140/90mmHg未満まで降圧する。75歳以上のCKDステージ4, 5ではCa拮抗薬を第一選択薬に使用する。
p. 111 10・11行目	150 (中略) 130	150mg/dL (中略) 130mg/dL
p. 185 14行目	(追加)	d) ヒドロキシクロロキン 網膜症がなければプラケニル®200～400mgの投与を考慮する。
p. 305 12行目	アガルシダーゼα (ファブラザイム®)	アガルシダーゼα (リプレガル®)
p. 306 2・4行目	アガルシダーゼβ (リプレガル®)	アガルシダーゼβ (ファブラザイム®)
p. 309 18行目	$4/3\pi abc$	$4/3\pi \times a/2 \times b/2 \times c/2$
p. 527 7～10行目	■『高齢者糖尿病ガイドライン2017』では、高齢者の血糖管理目標をHbA1c7.0%未満SU薬、インスリン使用時HbA1c8.0%未満、75歳未満では下限7.0%と定め、低血糖を防止していくとしている(図1)。	■『高齢者糖尿病ガイドライン2017』では、高齢者の血糖管理目標値HbA1c7.0%未満を目標とし、中等度以上の認知症やADLの低下がある場合には8.0%未満でもよいとしている。インスリンやSU薬使用例では、前期高齢者ではHbA1c7.5%未満、後期高齢者では8.0%未満とする。中等度以上の認知症がある場合、ADL低下がある場合、重篤な併存疾患がある場合には8.5%未満を目標としてよい(図1)。
p. 698 下9項目目	ウピトラピ	ウブトラピ